

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森山 良和議員	1 伊佐市の地域創生とは	<p>(1)「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について</p> <p>ア. 策定はもとより、現実的で効果の見える振興策を展開するためには、何が必要だと考えるか。</p> <p>イ. 住みよいまちとして「住みよさランキング2014」県内1位を獲得した。子どもを産み育てる環境の整備は、希望の持てる伊佐市づくりにつながると考える。人口増に向けても、本市の優位性や強みを活かせる雇用対策は考えられないか。</p> <p>ウ. 小学生から高校生、若い人たちの支援策も重要である。人口減少に歯止めをかけ、「地方消滅」の危機を避けなくてはならない。伊佐市の進むべき道をどのように考えるのか伺いたい。</p>	市長	
		2 地域活性化をどのように進めるのか	<p>(1) 子育て、高齢者支援などの充実は、内外に誇れるものがあると思う。この情報を広く発信し、定住対策にもつなげる中で「ふるさと応援寄付金」のさらなる活用が必要と考えるが、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(2)「魅力的なまち」として交流人口を増やすために、近隣自治体及び鹿児島市などと連携しながら、観光客誘致に向けた施策は図られないか。</p>	市長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	岩元 克頼議員	<p>1 伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>2 農地の権利取得に当たっての下限面積について</p> <p>3 大口高校支援策について</p>	<p>(1) 国のまち・ひと・しごと創生戦略に対する見解。</p> <p>(2) 策定に必要な人材の確保について</p> <p>(3) 地方移住の推進についての現状と今後について</p> <p>(4) 結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後について</p> <p>(5) 地域産業の競争力強化や企業誘致等への取り組みについて</p> <p>(1) 農地の権利取得にあたっての下限面積については、地域の実情に応じて農業委員会の判断で引き下げられることになったが、どうするか。</p> <p>(2) 県下の自治体における対応はどのようになっているか。</p> <p>(1) 平成27年入試の志願状況</p> <p>(2) 平成27年国公立大学入試（前期）及び同等の私立大学の合格者の状況が、わかっているならばお知らせいただきたい。</p> <p>(3) 今後の支援策についての見解</p>	<p>市長</p> <p>農業委員会 会長</p> <p>市長</p>	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	鶴田 公紀議員	1 施政方針について	(1) キーワード「経済」「コミュニティ」「若者」の具体的対策の内容について (2) まち・ひと・しごと創生の施策について (3) 地方創生について ア. 県知事との意見交換状況について イ. 当市の具体的取組内容について	市長	
		2 学校振興について	(1) ・大口中央中学校の各学年別のクラス数及び生徒数 ・スクールバス運行 ・部活動の帰宅方法等 ・土曜授業の実施 ・小中一貫教育等、教育環境の整備 ・羽月北小学校の対応 (2) 高校振興について ア. 地元公立高の入学出願者の減少理由 イ. 大学受験者数及び合格予定者数	市長 教育長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	今村 謙作議員	1 教育支援について	<p>(1) 小中一貫教育推進について ア. 安定した学校生活と学力向上を図るとあるが、具体的な内容はどのようなものか。</p> <p>(2) 体力向上への取り組みについて ア. 小、中学校（指定校）に体幹トレーニング（KOBAS式トレーニング）を取り入れるとあるが、その具体的な内容はどのようなものか。</p> <p>(3) 土曜日の授業がスタートするが、具体的な内容について。</p>	教 育 長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	久保 教仁議員	1 どうする重留多目的公園用地	<p>(1) これまでの推移を時系列で示せ。</p> <p>(2) 土地購入後の構想に、忠元公園と交互に使用できるサッカー場があった。これは、県体育館誘致でとん挫した。体育館の結論はいつ頃出るのか。</p> <p>(3) 県体育館の結果による、その後の対応は。</p> <p>(4) 花公園構想は、いつまでか。何を植栽するのか。</p> <p>(5) 排水処理をハード事業として建設会社に委託することだが、内容はということか。</p>	市長	
		2 薬師自治会の排水対策について	<p>(1) 平成25年9月13日、薬師集落から排水処理について要望書が出されている。この回答はどうされたか。</p> <p>(2) 浸水被害の実態を確認されたか。</p> <p>(3) 浸水被害をもたらす青線の管理責任者は誰か。</p> <p>(4) 浸水被害を防ぐ施策を検討されたか。</p>	市長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	畑中 香子議員	1 介護保険について	(1) 第6期介護保険計画による保険料の大幅値上げは行うべきでない と考えるがどうか。 (2) 要支援者は地域事業サービスを受けることになるが、要介護認定 の抑制や「自立」を強要するなどのおそれはないか。	市長	
		2 子ども医療費助成 の対象年齢引き上げ について	(1) 県内で最低水準となっている子ども医療費助成制度の対象年齢引 き上げを検討せよ。	市長	
		3 水俣病問題につい て	(1) 市内に水俣病の患者が多く存在するが、未認定の方や水俣病との 診断を受けておらず適切な治療を受けていない方に対して、早急に 何らかの対策を行うべきと考えるがどうか。 (2) 国や県に対し、水俣病発生当時の交通事情などを考慮し、線引き は適切でないこと、伊佐市も対象地域とすべきだということを求 めるべきではないか。	市長	
		4 サイレン吹鳴につ いて	(1) 山野地域の方で消防サイレンの音に悩まされている方が対策を講 じてほしいと訴えておられるが、環境基本法や騒音規制法に基づき 調査のうえ対策を講じるべきではないか。	市長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	森田 幸一議員	1 戸籍・住民票等の第三者交付に係る本人通知制度について	<p>(1) 現在の登録者は何人か。</p> <p>(2) 市民に対して制度の周知はどのようにしているのか。今後どのようにして登録者の増加を図るのか。</p> <p>(3) 登録有効期間は、登録日から3年で更新手続きが必要となっているが、なぜ3年間と期間を定めているのか。更新の事務手続きも大変だと思うが、引き続き登録を希望する方も更新手続きが大変である。今後見直す考えはないのか。</p>	市長	
		2 高齢者運転免許証の返納制度について	<p>(1) 平成24年10月1日から実施しているが、周知はどのようにしているのか。また、現在までの自主返納者は年代別に何人なのか。高齢者の運転免許保有者は何人なのか。</p> <p>(2) 65歳未満で身体機能や認知機能が低下されている方に、家族が心配し自主的に運転免許証を返納されておられる方に対する支援策はどのように考えているのか。</p>	市長	
		3 子育て支援設備の設置状況と今後の対応について	<p>(1) 本市内の公共施設は授乳室、おむつがえ用のベビーシート、ベビーキープ付きトイレの整備状況はどうか。施設ごとに伺いたい。(市役所・文化会館・ふれあいセンター・環境改善センター・まごし館・コミュニティ協議会の館等)</p> <p>(2) 設備状況が不十分である施設は、今後どのように対応するのか。</p>	市長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	左近充 議員	1 土瀬戸橋より国道 周辺整備について	(1) 計画はあるか。 (2) 現在、どのように進められているか。 (3) 交差点改良はできないか。 (4) 信号機の設置はできないか。 (5) カーブミラーの設置を。 (6) 追い越し禁止のラインを。	市長	
		2 鳥獣被害対策について	(1) 施政方針の中に、国の事業や市、単独事業で侵入防止柵設置を進めるとあるが、場所等は。 (2) 国の新しい事業か。 (3) 他にも、大型罟の事業はないか。 (4) さつま町との、駆除の話し合いはできないか。	市長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	中村 周二議員	<p>1 学校給食について</p> <p>2 施政方針の中から</p>	<p>(1) 伊佐市の人口は、合併以来 4000 人ぐらい減少している。小学生、中学生の人数も、340 人ぐらい減少している。これから先は、伊佐市の財政も苦しくなってくる。給食費を上げるのか、それとも、経費を抑え運営していく方法を考えるのか伺う。</p> <p>(1) 施政方針の2ページから3ページの所で、国の政策の紹介が始まり、国、県はもとより、地域の関係団体等と連携して進めますとあります。国の職員派遣（国の人材バックアップ支援）等、取り組まれていくのか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	緒方 重則議員	<p>1 学校運営について</p> <p>2 教育環境について</p>	<p>「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現実的で効果の見える振興策に向けた施策の展開（五つの政策）の「地域と学び未来に生かす人づくり」</p> <p>(1) 今年4月に開校する大口中央中学校の円滑な学校運営や安全安心な体制づくり、再編に伴う生徒の心のケアについて</p> <p>ア. 真に円滑な運営を望むが、生徒は感受性多感な時期であり特にフォローが必要であると思うが、その対応策は。</p> <p>イ. 地域との連携をどう考えるか。</p> <p>ウ. 地元高校振興につながる進学指針を明確に示していくべきではないか。</p> <p>(1) 学校施設の老朽化対策について</p> <p>ア. 現状をどうみているのか。</p> <p>イ. 今後、継続する社会資本整備費や医療福祉費、汚泥再生処理センター建設費用など財政的に厳しくなる中で、コストを抑えた教育環境の確保対策をどのように進めていくのか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	福本千枝子議員	<p>1 施政方針について</p> <p>2 女子駅伝・男子駅伝の強化について</p>	<p>国は「日本・地方の元気」を取り戻すために「まち・ひと・しごと創生法」を策定し、地方の活性化をめざすとしている。少子高齢化の本市の状況をふまえ、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 「市民誰もが活躍できる自治づくり」とし、人材発掘、誘致とあるが、どのような人材を求めるのか。</p> <p>(2) 「伊佐の特性を活かす地域・産業づくり」では「しごとをつくる」とある。若者が残れるまちづくりが求められるが、どんな仕事がつくれるか。又、地場産業の活性化や企業誘致をどう考えるか。</p> <p>(3) 「ともに支えあう明るく元気な人づくり」とは赤ちゃんから高齢者までの元気な人づくりと考える。医療費削減や介護保険にかからない為にも重要課題である。「地域包括システム」構築からしても、各地域で活動できる運動普及推進員制度は検討できないか。</p> <p>(4) 教育分野においては、4月「大口中央中学校」が開校する。学校生活や部活動等、教育長が考える学校運営について伺う。</p> <p>(5) 社会教育課、文化スポーツ課が菱刈庁舎に移った「ふれセン」の利用状況はどうか。市民からは元に戻してほしいとの強い要望がある。又、文化スポーツ課においてもスポーツ大会等の利便性も含め文化会館がいいとの声もある。戻せないか。</p> <p>(1) 今年も県地区対抗女子駅伝、県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催された。女子は練習の成果が見えた中学生の健闘もあり、総合10位、躍進賞1位に輝いた。男子も5日間の長きに渡り、一人の怪我もなく走り抜け、最終日には区間賞も出て、選手皆さんの力強さに感動した。もっと市民全体のバックアップや強化はできないものか。そして選手の皆さんが十分練習できる環境づくりが求められるが、市長、教育長の見解を伺う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	柿木原榮一議員	<p>1 伊佐市環境美化推進条例の現在の取り組みについて</p> <p>2 湧水町に設置予定の産業廃棄物処理施設に対する今後の伊佐市の対応について</p>	<p>(1) 伊佐市環境美化推進条例の中に、目的、市の責務、市民等の責務があるが、現状の取り組みがどうなされているのか。</p> <p>(2) 伊佐市の財源でゴミを取り除く事業もされている。同法（公共の場所の管理）の第7条第2項で、「市は、必要に応じ、公共の場所の管理者に清掃等適切な維持管理を要請するものとする。」となっているが、要請したことがあるか。</p> <p>(3) 市民等に対して、ポイ捨て禁止の啓発的なお願いをしているか。</p> <p>(4) 道路はもちろん、水路、川等にゴミの不法投棄が多く見られるが、国土交通省川内川河川事務所発行の「平成26年度川内川上流域ごみマップ」で不名誉な数字が出ているが、どのように思うか。</p> <p>(1) 九州北清（株）が始良郡湧水町恒次米ガミ1776番地4外57筆に設置申請の産業廃棄物管理型最終処分場には、平成26年11月17日付けで鹿児島県知事より「産業廃棄物処理施設設置許可証」が交付されましたが、伊佐市として県知事に、なんらかの条件等要請されたのか。</p> <p>(2) 今後伊佐市として、何か行動していくのか。</p> <p>(3) 鶴田ダムから上流の川内川水域に係る上乘せ排水基準があるが、生活環境の保全に関する項目、人の健康の保護に関する項目（有害物質）については要望されなかったのか。</p> <p>(4) 伊佐市として、環境防止協定（旧公害防止協定）をどう考えるか。</p> <p>(5) 現在の川内川の水質、土壌のバックグラウンドの状況を、複数の基準個所で、複数回測定しておく考えはないのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	沖田 義一議員	<p>1 文部科学省の公立小・中学校の統廃合に関する手引き案について</p> <p>2 土曜授業の導入について</p>	<p>(1) 1学年1学級以下となる小学校の6学級以下と中学校の3学級以下の学校は、統廃合するかどうかの検討を求め、又、統合を選択しない場合の対策についても求めている、この手引書についての感想、受け止め方を伺いたい。</p> <p>(2) 伊佐市の小学校の現状と0歳児が入学する年度の予想される状況を伺いたい。</p> <p>(3) 伊佐市は手引案を受けて、今後どうしていく考えなのか伺いたい。</p> <p>(1) 伊佐市は土曜授業を10月から第2土曜日に実施すると報道されたが、その内容等について伺いたい。</p> <p>(2) 土曜授業をどうするかは、各学校に裁量権があると報道されているが、この事について伺いたい。</p> <p>(3) 児童、生徒、保護者にも色々な考え方があると思うが、対応方について伺いたい。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	山下 和義議員	1 平成27年度施政方針について	<p>(1) 伊佐市も国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現実的で効果の見える振興策を展開していくとしている。どのような振興策を考えておられるのか。</p> <p>(2) 政策1「市民誰もが活躍できる自治づくり」の中で、自ら考え実行する人材の発掘・誘致を行うとしている。具体的な考えをお伺いしたい。また国の経済対策・地方創生に係る施策等はどのような事が考えられるのか。</p> <p>(3) 政策2「伊佐の特性を活かす地域産業づくり」将来に向けた伊佐の産業のあり方、地方創生メニュー等についてどのような事が考えられるか。また、魅力ある農業づくりとは具体的に教えていただきたい。商工業の振興で「にぎわいを生む」拠点づくりは大切であると思う。各商店街でどのような取り組みができるか、伺いたい。</p> <p>(4) 政策3「自然と調和した快適な生活空間づくり」主要交通ポイントへの防犯カメラの設置は、市民の安全安心のためには必要であるということで、本年度より設置の方向である。具体的な今後の予定があるか。また、公営住宅の小水流団地の建て替えは、どのようなになるのか。その後の公営住宅の建て替えについても伺いたい。</p> <p>(5) 政策4「ともに支えあう明るく元気な人づくり」住み慣れた場所でいきいきと暮らせる地域づくりは大切であると思う。適切なサービスの提供とは。また、18歳未満の第3子以降の保育料の無料化について、具体的にはどのように取り組むのか。生活困窮者が自立に繋がるような推進策等について具体的な考えは。</p>	市長 市長 市長 市長 市長	

平成27年第1回定例会一般質問

平成27年3月9日・10日・11日

(17枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	諏訪 信一議員	<p>1 土曜日授業実施について</p> <p>2 教育委員会制度について</p>	<p>2014年12月3日県教育長より、2015年度から各市町村教育委員会に対して、土曜授業を実施するよう要請されました。2015年2月19日県教育委員会は、県内一斉導入を発表しました。月1回第2土曜日で、午前3時間とする内容です。</p> <p>(1) これまでの週5日制を、どう評価されたのか。</p> <p>(2) 社会的に、完全5日制が定着している今日、子ども達の土曜日の過ごし方は調査されているのか。</p> <p>(3) 今日、県教育委員会の要請は、法的に問題はないのか。</p> <p>(4) 学力低下に対する支援策とも受けとられ、年間10日30時間で学力向上は改善されるのか。</p> <p>(5) 土曜いきいき講座との関係は。</p> <p>(6) 学力テスト結果で、月1回を実施とするのであれば、対象父母、生徒にアンケートを実施し、月2回実施は考えられないのか。</p> <p>(7) 代替休暇の取得は。</p> <p>教育委員会の改革として、責任体制の明確化、又総合教育会議の設置、教育に対する首長の政治的介入等の内容になっています。</p> <p>(1) 経過と市長の考えを伺いたい。</p>	<p>教 育 長</p> <p>市 長</p>	

